

ここフリ

きょうせい まな むげんたい
-共生、学びは無限大-



～第13号～

福島市心のバリアフリー
推進キャッチフレーズ

< 令和7年1月発行 >

福島市共生社会推進課
〒960-8601
福島市五老内町3番1号
TEL 024(572)3948
FAX 024(535)7970
HP <https://www.city.fukushima.jp>

【紹介】 市内投票所への
『コミュニケーションボード』設置！
～福島市選挙管理委員会～



昨年10月実施の衆議院議員選挙から導入された『コミュニケーションボード』を紹介します。
バリアフリー推進パッケージの事業の1つで、本市独自の取り組みです。

コミュニケーションボード 何かお手伝いできますか？

1 入場券(はがき)を忘しました
A. 本人確認をさせていただければ、投票ができます

2 候補者が分かりません
A. 選挙公報をお渡します
また、記載台に候補者や政党などの名前が書いてあります

3 字が書けません
A. 職員が代わりに書きります（代理投票）

4 投票用紙の書き方が分かりません
A. 選挙によって違います
衆議院選挙 小選挙区 比例代表 国民審査
候補者名 政党等名 □□△△○○
参議院選挙 地方選挙
選挙区 比例代表
候補者名

5 書き間違えました
A. 二本線で消してください

6 次の物を借りたいです
・老眼鏡
・投票用紙記入補助具(目の不自由な方の投票をサポート)
・点字器
・その他

筆談でも対応可能です

福島市選挙管理委員会 024-525-3777

コミュニケーションボードとは？

聴覚に障がいのある方や言葉の発声が困難な方とのコミュニケーションを手助けするものです。

イラストを指さすことで、困っていることや手伝ってほしいこと、また、その対処などを、お互いに伝え合うことができます。

コミュニケーションボードができるまで

内容やレイアウトなどについては、バリアフリー推進パートナーの「福島市聴覚障害者協会」へ相談し、アドバイスをもらいました。
本市オリジナルのデザインです！

他にも、誰もが安心して、スムーズに投票ができるように、①代理投票、②点字投票、③介助者の同伴、④投票用紙記入補助具、⑤ヘルプカードなどの支援を行っています→→→

詳しくは
市HPへ

多言語のコミュニケーション支援の観点
からも広く注目されています。



きょうせい まな むげんたい
～共生、学びは無限大～ 福島市心のバリアフリー推進キャッチフレーズ



『知る？知る！
心のバリアフリー』
コーナー Vol.7

制度やルールにより
行動の制限を受けたり
機会を奪われるバリア

4つのバリア（壁）を詳しく知ろう②>

～「決まりのバリア」ってどんなこと？～

決まりのバリア

物のバリア

4つのバリア

文化・情報のバリア

心（意識）のバリア

例えば

- ・盲導犬を連れた方が飲食店で入店を断られる



- ・車いすを使用していることを理由に、受験や入学を断られるなど



多数を占める人の視点で考えられてきた社会の仕組みや制度、ルールにより、一部の人が多数を占める人と同じ機会が得られないことがあります。

【誰もが当事者である意識】をもって、多様な視点で考え、日々見直していくことが大切です★



『ここフリ』クイズ★



Q1.一人ひとりにできる
心のバリアフリーの行動は？
▶ヒント：やってみよう！心のバリアフリー

Q2.外見から分からなくても、
援助は配慮を必要としていることを
周りに知らせるマークは？



←【答え】

ここフリ第11号から
お読み取りください

『誰にでもやさしいまちふくしま』の実現に向けて、これからもさまざまなバリアフリー情報を、わかりやすく発信してまいります！！



きょうせい まな むげんだい
～共生、学びは無限大～ 福島市心のバリアフリー推進キャッチフレーズ

ご案内

令和6年度 心のバリアフリー講演会

と き/2月11日（火・祝）

14:00～15:20（開場13:30）

ところ/ホテル福島グリーンパレス 瑞光の間
演題/「福島市と歩んだ

パラリンピックへの軌跡」

パラリンピックボッチャ競技、パリ2024大会銅メダリストと東京2020大会日本代表監督に、バリアフリーについて講演いただきます！



◀ 詳細・お申込みは
市のHPでご確認ください



ここフリ第14号は

令和7年3月頃 発行予定！



バックナンバーはこちら⇒⇒⇒